

地域で協力して災害に備えましょう！

近年、地球温暖化に伴う異常気象による大雨や、地震などの自然災害が全国で頻発しています。災害による被害を最小限にとどめ、自らの命を守るためには、個人だけでなく、地域での初期消火や救出救護、避難行動など自主的な防災活動を行う「共助」の取り組みが重要です。

町内会や自治会等の地域単位で、皆さんが手を取り合って地域の安全を守り、日ごろから隣近所との交流を深め、協力して助けあう「**自主防災組織**」を設置し、災害に備えましょう。

栗山町自主防災組織等活動支援補助金

地域の防災力を高め、安全で住みよい地域づくりを推進するため、**自主防災組織や、設立に向けた取組を行う町内会・自治会が行う防災活動に対し、活動経費の一部を補助**します。

※ほかの補助金、交付金の助成を受けている事業は対象外

詳細はこちら▶



事業区分	防災活動支援	設立準備支援
対象	自主防災組織 自主防災組織設立に向けた取組を行う町内会・自治会	自主防災組織設立に向けた取組を行う町内会・自治会
対象事業	○防災活動事業 ・防災訓練、研修会など ・防災マップやチラシ作成など ○防災資機材購入事業 ・防災資機材、備蓄品  地域避難訓練	○自主防災組織設立に向けて行う事業 ・研修会など ・防災マップやチラシ作成など  防災学習会
限度額	3万円	
補助回数	年度内1回	1回限り

栗山町防災会議・栗山町国民保護協議会 委員募集中

栗山町防災計画および、栗山町国民保護計画などについて協議します。

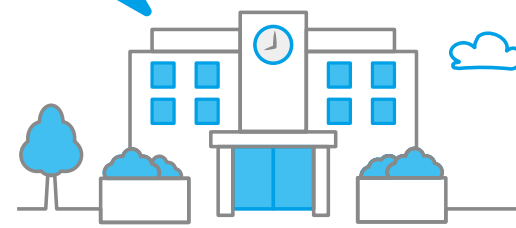
- 公募人数** 2人（総委員数35人以内）
- 申込期限** **8月6日(木)** ※必着
- 会議など** 年1～2回程度、報酬は会議1回につき4,000円
- 任期** 委嘱があった日から～令和10年3月31日（2年間）
- 応募資格** 町内に在住、在勤または在学されている満18歳以上の方
※3機関以上の町の審議会・委員会などの委員の方は応募できません。
- 応募方法** 専用の申込書に必要事項を記入し、郵送、FAX、Eメールのいずれかで提出
※申込書は下記の申込先でお渡しするほか、町ホームページからダウンロードできます。
- 決定方法** 申込書による書類選考および面談

申込方法など
詳細はこちら▶



【申込先・問い合わせ】 総務課広報・防災グループ
☎ 73-7501 FAX 72-3179 Eメール kouhoubousai-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

栗山学び隊 / 栗山高校



介護福祉学校と栗山高校を隔月で取材！
地域の力がチームの力へ



むやこのは 撫養虹乃羽さん (2年)
まつもと みゆ 心優さん (3年)

栗山高校女子硬式野球部

主将として最後の舞台へ

栗山高校女子硬式野球部は、7月19日に兵庫県で開催される第30回全国高等学校女子硬式野球選手権大会と、8月に岐阜県で開催される第17回全国高等学校女子硬式野球ユース大会に出場します。大会に向けてグラウンドで汗を流していた、主将の松本心優さんと、2年生副主将の撫養虹乃羽さん取材しました。



東京都出身の松本さんは、兄が野球をしていたことがきっかけで、小学4年生から野球を始めました。高校への進学先を考える際、SNSでみた栗山高校女子野球部の魅力に惹かれ、同校への進学を決めたそうです。

「地域の皆さんから温かい

応援をいただいたり、栗山英樹さんから直接激励をいただいたりする栗山町は本当に特別な場所だと思います。栗山町に来てよかったです」と、松本さんは話します。

春まではチームの打撃が好調でしたが、不調になったため、部員全員で目標を立てて、毎日素振りなどのトレーニングを重ねた結果、少しずつ改善してきました。7月の全国大会の決勝戦は、甲子園球場で行われます。「決勝まで進んで監督を甲子園に連れて行きたいです。そして、地域の皆さんの期待に応えたいです」と松本さんは、意気込みを語ります。

先輩から受け継ぎ、繋げる

野球をする兄の姿をみて、小学1年生から野球を始め、せたな町出身の撫養さんは、父の勧めで同校に入学しました。高校生になってから始めた硬式野球ですが、軟式だった中学生までと同じ、サー

「今の課題は、連携プレーです。先輩たちは、声もよく出っていて、楽しく野球をしています。自分たちも見習い、3年生と臨む最後の大会で優勝したいです」と話します。

また、松本さんと同じく撫養さんにとっても地域の応援は、大きな支えで、日々の練習や試合への闘志を燃やすことができると言います。「登下校中に、『頑張って』と声をかけてくれる方や、差し入れを持って応援に来てくれる方もいて、とても力になっていきます。皆さんの応援を糧に一戦一戦を勝ち抜いていきたいです」と、声に力がこもります。

取材の最後、松本主将は「まさに恩返しするために、がむしゃらにやるだけです」と話し、元気に練習へ戻っていました。

